

# 第117回 ピアノ新人会 55周年記念 協奏曲の夕べ

新井和子

*Kazuko Arai*

ベートーヴェン  
ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58

*L.v. Beethoven*  
*Piano Concerto No. 4 in G major op. 58*

大澤恵子

*Keiko Obsawa*

グリーク  
ピアノ協奏曲 イ短調 作品16

*E.H. Grieg*  
*Piano Concerto in a minor op. 16*

高坂朋聖

*Tomonori Kobsaka*

チャイコフスキー  
ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23

*P.I. Tchaikovsky*  
*Piano Concerto No. 1 in b-flat minor op. 23*



©KMiura

東京フィルハーモニー交響楽団  
*Tokyo Philharmonic Orchestra*

指揮 / カールマン・ベルケシュ  
*Conductor: Kálmán Berkes*



2014年10月17日(金) 午後6時30分開演(5時50分開場) 東京芸術劇場コンサートホール  
*October 17, 2014 6:30PM TOKYO METROPOLITAN THEATRE Concert Hall* 「池袋駅」西口より徒歩2分。03-5391-2111

全席指定

S席 ¥5,000  
A席 ¥4,000  
B席 ¥3,000

●前売：チケットぴあ [pia.jp/t](http://pia.jp/t) 0570-02-9999 (Pコード234-691)  
東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296  
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

マネジメント：新演奏家協会 03-3561-5012 <http://www.shin-en.jp>

# 第117回 ピアノ新人会 55周年記念 協奏曲の夕べ

2014年10月17日(金) 午後6時30分開演(5時50分開場) 東京芸術劇場コンサートホール

## 出演者プロフィール

### 新井和子 *Kazuko Arai*

札幌市出身。武蔵野音楽大学を経て同大学院修士課程修了。武蔵野音楽大学同窓会道央支部新人演奏会、定期演奏会に出演。東京、札幌にて数々のリサイタルやジョイント・リサイタルを開催。ピアノ新人会主催の演奏会はジョイント・リサイタル(1983、1991年)、室内楽の夕べ(1986、1997、2000、2010年)に出演。1985~86年にレイ・ハークス氏(元武蔵野音楽大学客員教授・Vn.)と長崎、旭川にて共演、また日本演奏連盟主催ジョイント・コンサートに出演する。その他数々の伴奏やコンクールの審査員を務める。2013~14年武蔵野音楽大学在外研修員としてベルリンにて研修する。これまでに、ピアノを笹村恵津子、岡見淑子、岩谷晴代、J.ホラーク、L.ヒルトブラン、K.U.シュナーベル、H.ブラウス、D.クラウス、G.ヴァンシャヘーリ、J.ヤンドー、J.ガネヴァ、G.サヴァの諸氏に師事。また、伴奏法をC.d.プロイエン氏に師事。

現在、武蔵野音楽大学専任講師、ピアノ新人会会員、公益財団法人日本ピアノ教育連盟会員。

### 大澤恵子 *Keiko Obsawa*

盛岡市出身。武蔵野音楽大学を経て同大学院修士課程修了。卒業演奏会出演。1983年よりリサイタル6回。ピアノ新人会主催の演奏会はジョイント・リサイタル3回、室内楽の夕べ(イソ弦楽四重奏団と共演)、2台ピアノの夕べに出演。1984年より毎年コレギウム・ムーシクムに出演の他、ジョイント・コンサート、サロンコンサート、作曲家・コントラバス奏者 稲垣卓三氏との共演・録音、練馬区主催ファミリーコンサートシリーズ等、ソロ・デュオ・伴奏で様々な演奏会や式典に出演。川口市青少年ピアノコンクール審査員、市民大学講座講師、ボランティアコンサート、チャリティーコンサート、ライブ等の活動を行う。これまでに、ピアノを奈良滯子氏、伴奏法をC.d.プロイエン氏に師事。R.スメンジャンカ、M.シュタイン、B.シキ、D.クラウス、A.v.アルニム、G.スコターゼ、J.ガネヴァ諸氏のレッスンを受け研鑽を積む。

現在、武蔵野音楽大学及び同附属高等学校講師、いけぶくろ楽器特修科講師としてピアノ・ソルフェージュを教える。ピアノ新人会会員、リトルコンサート主宰。

### 高坂朋聖 *Tomonori Kobsaka*

釧路市出身。武蔵野音楽大学を経て同大学院修士課程修了。武蔵野音楽大学卒業演奏会、同大学新人演奏会等に出演。1989年のデビュー・リサイタルを皮切りに本格的な演奏活動を始め、王子ホール、津田ホール、カザルスホール等で9回にわたり定期的にソロ・リサイタルを重ねる。また、全国各地での公開講座、公開レッスン、コンクールの審査員を務める等、教育的活動も幅広い。2006年4月より1年間、武蔵野音楽大学在外研修員としてハンブルク音楽院でさらに研鑽を積み、Aufbaustudiumを修了。これまでに、ピアノを荒谷宏、丸山徹薫、R.カヴァイエ、J.ホラーク、H.ブラウス、D.クラウス、J.ガネヴァ、K.ゲキチの諸氏に、伴奏法をH.ヒューグ=ロジェ氏に師事。また、ハンブルク音楽院にてピアノと室内楽をM.ウェーバー氏に師事。

現在、武蔵野音楽大学准教授および学務部部長補佐。また武蔵野音楽大学附属高等学校と小諸高等学校音楽科においても後進の指導にあたる。公益財団法人日本ピアノ教育連盟会員、ピアノ新人会副会長。

### カールマン・ベルケシュ (指揮) *Conductor : Kálmán Berkes*

ハンガリー出身のクラリネット奏者、指揮者。ジュネーヴ国際音楽コンクール・クラリネット部門シルバーメダル受賞のほか、バルトーク「コントラスツ」(ナクソス)でグラミー賞室内楽部門ゴールドメダル受賞。ハンガリー国立歌劇場管弦楽団、及びブダペスト・フィルハーモニー管弦楽団、ブダペスト祝祭管弦楽団の首席クラリネット奏者を歴任。1982年にはブダペスト・ウィンド・アンサンブルを創立、芸術監督に就任。1987年、指揮者としての活動を開始。ハンガリー国立歌劇場管弦楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団の常任客演指揮者等を歴任。これまでにスイス・ロマン管弦楽団ほか各国のオーケストラにソリスト、指揮者として招聘される。2013年、ハンガリー国騎士十字勲章受章。プロ・ウルベ賞(ハンガリー・ジュール市)、バルトーク・パーストリ賞受賞。

現在、武蔵野音楽大学客員教授。ジュール・フィルハーモニック管弦楽団(ハンガリー)音楽監督。

### 東京フィルハーモニー交響楽団 *Tokyo Philharmonic Orchestra*

1911年創立の日本で最も古い歴史と伝統を誇る日本を代表するオーケストラ。約150名のメンバーをもち、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。常任指揮者にダン・エッティンガー、桂冠名誉指揮者にチョン・ミョンフン、桂冠指揮者に尾高忠明と大野和士、首席客演指揮者にウラディーミル・フェドセエフらを擁する。「定期演奏会」をはじめ「午後のコンサート」や「こども音・楽・館」などの自主公演の他、新国立劇場のレギュラーオーケストラとしてのオペラ・バレエ演奏、NHKにおける『名曲アルバム』『さらさらクラシック』、FM『プラボー!オーケストラ』、さらに「題名のない音楽会」などの放送演奏により全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開し、クラシック音楽の広い普及に努めている。

●公式ウェブサイト <http://www.tpo.or.jp/> ●公式フェイスブック <https://www.facebook.com/TokyoPhilharmonic>

## ピアノ新人会

ピアノ新人会は武蔵野音楽大学において故レオニード・コハンスキー教授の薫陶を受け、母校に奉職した数名のピアニストが、お互いに切磋琢磨して音楽芸術の一層の研鑽を目指すために、1959年に結成・発足された。その後、同大学及び専攻科・大学院修了者のうち、特に会員の推挙を受けた有志を逐次新会員として迎え、現在に至る。「常に新人の時の心構えを忘れずに、いつまでも清新な情熱を燃やして音楽の道を歩み続けたい」という、会の名称にこめられた趣意に則り、内外の著名な諸教授を迎えて毎年2回の研究会と、会員による「ジョイントリサイタル」及び「室内楽の夕べ」を開催。また1980年以来、記念演奏会として5回の「ピアノ協奏曲の夕べ」を開催。現在約100名の会員が在籍、会長は福井直昭。